

志戸前川地区直轄地すべり防止事業の概要(H31着手)

東北森林管理局
(平成31年4月1日現在)

東北森林管理局では、雫石町志戸前川流域において平成25年8月の豪雨により多数の山腹崩壊や土石流が発生したほか、活動の危険性の高い大規模な地すべり地が確認されたことから、岩手県知事からの要請を受けて、平成30年4月から「志戸前川地区直轄地すべり防止事業」に着手することになりました。

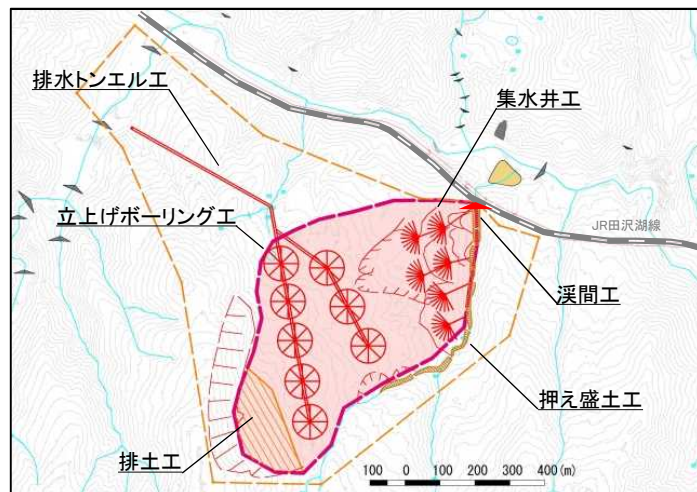
今後の豪雨や地震により大規模な地すべりが発生するおそれがあることから、速やかに地すべり防止対策を実施し、下流域への大規模災害の未然防止に取り組みます。

本事業は、地すべりの原因となる地下水を排除する排水トンネル工や集水井工等の地下水排除工を中心に、地すべり頭部の排土工及び末端部への抑え盛土工により地すべりの滑動を抑える工事を行う計画です。



下流域の保全対象は、平成25年の集中豪雨時の被害区域と、本区域の地すべり土塊により河道が閉塞し、土砂ダムが決壊した場合のシミュレーションを基に、想定される被害区域を推定しています。

■ 計画している主な対策工



主な対策工 : 排水トンネル工 1,570m
集水井工 6基
排土工 112,100m³
抑え盛土工 92,300m³
全体計画額 : 5,500,000千円
施工予定期間 : 平成31年度～平成40年度



排水トンネル工の例
大規模かつすべり面が深い地すべり地では、トンネルを掘り地下水を排除します。



集水井工の例
地すべり地内に縦井戸を掘り、地下水を排除します。



■ 治山事業所を開設

本事業は、盛岡森林管理署において実施します。また、工事や調査の実行や、関係機関との調整等、事業の円滑な実施のため、4月1日に森林管理署内に「志戸前川治山事業所」を開設しました。

